

2025 年度供給計画の概要

当社は、2025 年度から 2029 年度までの 5 カ年の供給計画を策定いたしました。

1. はじめに

日本経済は、2007 年以來のマイナス金利解消や日経平均株価の 34 年ぶり最高値更新など、長きにわたり続いたデフレ状態からの脱却の兆しが見えた一方で、地政学リスクの高まりによる原料価格の高騰や円安による物価上昇など景気回復の足かせとなる要素は依然として多く、先行き不透明な状況が継続していることから、今後も十分に注視していく必要があります。

また、エネルギー業界におきましても、業種や地域の垣根を超えた事業者間の競争激化、脱炭素社会の実現に向けた潮流、エネルギー価格の高騰など、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増しております。

2024 年度の当社の状況といたしましては、総力をあげて都市ガスの普及拡大に取り組むとともに、継続して行っております導管の耐震性向上等、将来に向けた強固な事業基盤を築き上げる施策も着実に展開してまいりました。

2025 年度の設備投資につきましても、ガスの供給安定性向上と需要維持・拡大に資する観点から案件を精査し、小千谷市から譲受ける固定資産を含む 5,922 百万円の計画を策定いたしました。当社を取り巻く厳しい状況を踏まえながらも、将来を見据えて必要不可欠な案件には積極的に投資してまいります。

2. ガス需給計画

お客さま件数については、2029 年度 437,776 件を見込んでおり、ガス販売量については、2029 年度 381,647 千 m³ を計画しております。

(単位：45MJ、千 m³)

	2024 年度 (見込)	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
お客さま件数(年度末)	424,149	435,976	436,516	436,936	437,356	437,776
ガス販売量(千 m ³)	370,794	390,352	388,708	386,341	384,387	381,647

3. 導管設備計画

導管設備については、2029 年度末時点の総延長を 6,416 km と見込んでおります。

(単位：km)

	2024 年度 (見込)	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
導管総延長(年度末)	6,103	6,378	6,388	6,398	6,407	6,416

4. 設備投資計画(一般ガス導管事業)

設備投資については、2025 年度は小千谷市から譲受ける固定資産を含む 5,922 百万円を計画し、本期中、5 年間総額では 23,681 百万円を計画しております。

(単位：百万円)

	2024 年度 (見込)	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
設備投資額	3,540	5,922	4,568	4,510	4,376	4,305

以 上